

下水道管に新たな価値を創造する

エスロヒート下水熱

積水化学工業

積水化学工業（東京都港区虎ノ門二―三―一七・虎ノ門2丁目タワー、☎〇三―五五二―〇七四一）は、七月二十六日～二十九日までポートメッセなごやで開催された「下水道展」で、下水道の計画的な改築・更新に寄与する、長寿命化を図る工法や関連製品を多彩に紹介し、好評を博した。

我々の暮らしを足元から支える下水道は、多岐にわたる課題を抱えている。同社では、現在の暮らしに欠かすことのできないインフラである下水道を正常に機能させることはもちろん下水道に新たな価値を付与する技術・製品を数多く提供。より良い暮らしづくりに貢献する。

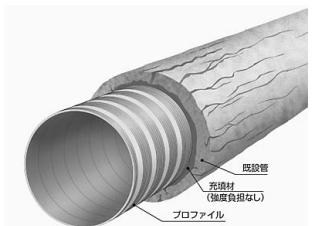
同展示会で紹介された「エスロヒート下水熱」は、街に張り巡らされた下水管に熱回収管を敷設して下水熱を回収し、地上に送るシステムである。

回収した熱エネルギーは、冷暖房や給湯に利用可能。化石燃料の消費制御やCO₂排出量削減に貢献する。



エスロヒート下水熱「らせん更生型」施工例

①耐震化や老朽化対策の管路更生工事と合わせて熱回収管を敷設可能な「らせん更生型」②リニューアルの必要がない場合に、どんな形状の下水道管にも熱回収管を敷設可能な「管底設置型」の2つがあり、施工場所に応じて選べる。その他、出展製品の中でも注目を集めた「SPR―SEE工法」は、既設老朽管内に設置されたプ



SPR―SEE工法の施工断面図

ロファイル単体で自立強度を確保できる更生工法である。

屈曲・断差、長距離施工にも対応でき、既設管の強度が期待できない老朽管を新管同等以上に更生できる。

非開削で水を流しながら施工可能。適用口径も拡大し、特に大口径では数少ない自立管更生工法として幅広い下水道管の改築に対応している。

「オメガライナー工法」は小口径向けの更生工法。現場硬化ではなく形状記憶塩ビ管を蒸気で円形復元することによる安定品質に加え、新たに

現場作業の大幅なスピードアップが実現した。

熱風発生装置により現場に着くまでに予備加熱を完了し、現場到着後すぐに引き込みを行うことで現場作業は最短5時間で完了。優れた品質とスピーディーな施工の両立を可能とした。

「らせん案内路式ドロップシャフト」は、元々汚水管路の落差処理からスタートしたが、近年の集中豪雨の多発により、特に都市部地下数十メートルに築造される雨水貯留管への落差処理で採用されるケースが増えている。

らせん構造により高落差をスムーズに処理し、

雨天時におけるマンホール蓋飛散防止に役立つ他、コンクリートの洗掘、劣化防止による長期耐久性が期待できる。

同社では、これら以外にも多岐にわたる課題に応える多くの下水道関連の製品・技術を提供している。

<http://www.sekisui.co.jp>



ドロップシャフト

